

[012]九州大学産学連携センター年報 : 12

<https://doi.org/10.15017/15512>

出版情報 : 九州大学産学連携センター年報. 12, 2006-09-25. 九州大学産学連携センター
バージョン :
権利関係 :



2. リエゾン部門、デザイン総合部門及びプロジェクト部門の協同事業

2.1 協同事業の目標

KASTECは平成6年度の設立以来、「産学官交流による地域社会等への貢献」を目指し、次の3項目に係る産学官交流活動を展開しています。

- 1) 民間企業等との共同研究・受託研究等の推進
- 2) 産学官交流の場の提供と技術シーズの発掘
- 3) 産業ニーズの発掘と産学官連携共同研究プロジェクトのコーディネートの推進

2.2 民間企業等との共同研究・受託研究等の推進

平成17年度は九州大学において439件の共同研究（その一覧を資料附録5に掲載します）、445件の受託研究が実施されました。共同研究のうち19件がKASTEC専任または兼任教員により遂行され、また22件がKASTECレンタルラボにおいて実施されました（その概要をそれぞれ下表および次ページの表に掲載します）。

なお研究協力制度の詳細については、九州大学HPより「社会との連携」
<http://www.kyushu-u.ac.jp/society/index.html> をご参照ください。

KASTEC専任または兼任教員により平成17年度実施された共同研究

研究題目	研究者	共同研究機関
掘削船用DPSの高度化に関する開発研究	産学連携センター長 教授 小寺山 亘	三井造船（株）
掘削船用DPSの高度化に関する開発研究 （フェーズ2）	産学連携センター長 教授 小寺山 亘	三井造船（株）
浮体と長大弾性管の総合制御システムの 研究開発	産学連携センター長 教授 小寺山 亘	（独）海上技術安全研究所
自律型無人潜水機の最適設計技術に関する 基礎的研究	産学連携センター長 教授 小寺山 亘	（独）海上技術安全研究所
電力需要の新規創出に関する調査研究 （その1）	リエゾン部門 助教授 古川 勝彦	九州電力（株）
新規ICカードシステム構築に関する調査研究	リエゾン部門 助教授 古川 勝彦	（株）サイエンスシステム
情報通信、芸術工学における新規研究の ゲーム産業への適用における調査・実証研究	リエゾン部門 助教授 古川 勝彦	（株）大広九州
時分割型IP方式立体ディスプレイの開発	リエゾン部門 助教授 古川 勝彦	（株）ソリッド研究所
里山の広葉樹における持続的な利用と育成 に関する研究	デザイン総合部門 教授 石村 真一	土井木工（株）
新しい建築空間プログラムの考察及び その設計方法論の研究	デザイン総合部門 教授 湯本 長伯	（株）山岡嘉彌デザイン事務所
有用美術資料公開ポータルサイト（電腦 美術館）の形成研究	デザイン総合部門 教授 湯本 長伯	（財）五島美術館
“アナログ半導体分野における①a-Si、aSiGeの単結晶化、 ②マイクロ波用MOS移動度向上、③微小領域評価技術”	プロジェクト部門 教授 中島 寛	（株）東芝 セミコンダクター社
シリコン中の格子欠陥評価と制御	プロジェクト部門 教授 中島 寛	イーエヌジー（株）
化合物半導体結晶の転位挙動	プロジェクト部門 教授 桑野 範之	住友電気工業（株）
異種材料接合界面の研究	プロジェクト部門 教授 桑野 範之	三菱マテリアル（株）

研究戦略	FS603	中島英治	総院・教授	結晶性材料の原子欠陥構造に関する分子動力学シミュレーション	九州電力(株)・総合研究所
	FS604	間瀬淳	KASTEC・教授	高性能非破壊検査装置の開発	三重津田電器産業(株)
	FS401	池田大輔	附属図書館・助教授	ユビキタス会社における電子図書館のソフト面高度化に関する研究	セントラルエンジニアリング
	FS503	三浦則雄	KASTEC・教授	自動車触媒の性能監視用排ガスセンサの開発	(株)リケン
	FS601	間瀬淳	KASTEC・教授	マイクロ波を用いた乾燥・殺菌技術とその応用に関する研究	九州電力(株)・総合研究所

2.3 産学官交流の場の提供と技術シーズの発掘

(a) KASTECセミナー

客員教授等を講師として招き、大学院生、学内教員及び地場の民間企業の研究者を対象とする製造技術・システム等に関する内容のKASTECセミナーを、平成17年度は10回実施しました。

[客]:産学連携センター客員教授

回	日時・場所	講師	テーマ	聴講者数
102	17・7・13(水) 16:30～18:00 大橋キャンパス 5号館511教室	砂田 向壺 氏 [客]文部科学省産学官連携 広域コーディネーター	「気になる第3期科学技術基本計画 —日本21世紀ビジョンの行方について—」	8
		菅藤 昌広 氏 [客]キャノン㈱総合デザインセンター デザイン開発推進部	「大競争時代の企業の研究開発 —キャノン㈱のデザイン知財戦略について—」	
103	17・11・24(木) 14:00～16:00 KASTEC研修室	荒尾 真樹 氏 [客]オムロン㈱センシング &コントロール研究所長	「研究開発戦略事例 —オムロンにおけるセンシング &コントロール技術—」	30
104	17・12・2(金) 14:00～16:00 KASTEC研修室	泉 順 氏 [客](財)産業創造研究所 柏研究所 化学研究部長	「産業廃棄物発酵工程からの メタンの回収、精製」	36
105	17・10・26(水) 18:30～19:45 大橋キャンパス 5号館511教室	砂田 向壺 氏 [客]文部科学省産学官連携 広域コーディネーター	「イノベーションの推進 —平成18年度文部科学省の取り組み—」	12
		菅藤 昌広 氏 [客]キャノン㈱総合デザインセンター デザイン開発推進部	「大競争時代の企業の研究開発 —デザインの改革と領域融合—」	
106	17・11・26(土) 14:00～15:00 福岡工業大学	西村 正 氏 [客]㈱ルネサステクノロジ 業務執行役員 生産本部副本部長	「日本の半導体産業とR&D」	200

107	18・1・30(月) 14:00～16:00 KASTEC研修室	西村 正 氏 [客] ㈱ルネサステクノロジ 業務執行役員 生産本部副本部長	「半導体技術の課題、動向、 将来展望」	31
108	18・2・10(金) 13:00～16:30 KASTEC研修室	佐藤 馨 氏 [客] JFEスチール研究所 分析・物性研究所 部長	「観えるとすごい!先端微細組織解析 技術が先導する高度鉄鋼材料開発」	60
		稲里 幸子 氏 ㈱松下テクノリサーチ ものづくり解析G	「電子材料を中心とした解析事例」	
		西川 明 氏 ㈱アイテス 品質技術事業部解析技術課	「CrossBeam FIBによる物理解析」	
		鈴木 清一 氏 ㈱TSLソリューションズ	「EBSDパターンを用いた 格子歪みの測定」	
109	18・2・10(金) 18:00～19:00 大橋キャンパス デザイン総合部門 会議・セミナー室	荒磯 恒久 氏 [客] 北海道大学創成科学研究機構 リエゾン部長 教授	「北海道の産学連携推進と 北海道大学の役割等について (HoPEとの協動を含む)」	15
110	18・3・17(金) 18:00～20:00 箱崎キャンパス 創造パビリオン会議室	荒磯 恒久 氏 [客] 北海道大学創成科学研究機構 リエゾン部長 教授	「産学連携推進と支援体制の 構築等について」	5
		山口 佳和 氏 (独)産業技術総合研究所 環境整備部門 部門長		
111	18・3・17(金) 14:30～16:50 大橋キャンパス 512教室	菅藤 昌広 氏 [客] キヤノン㈱総合デザインセンター デザイン開発推進部	「政府知的財産本部戦略と 〈日本発〉キャノンの革新」	10
		砂田 向壺 氏 [客] 文部科学省産学官連携 広域コーディネーター	「先端的プロジェクトの創造～ 〈日本発〉の狙い」	

(b) 産学連携・知財戦略推進セミナー

—平成17年度・第1回知的財産戦略と利益相反・責務相反について—

■日 時／平成17年7月20日 (水) 16:45～18:20

■場 所／芸術工学研究院 (大橋キャンパス) 本館4階 大会議室

■プログラム／

1) 挨拶 16:45～16:55

九州大学の利益相反マネジメント手続きについて

石村 眞一 氏 九州大学芸術工学研究院教授

九州大学産学連携センター副センター長 (デザイン総合部門)

2) 講演 16:55～18:05

- 1 産学連携・共同研究の推進とコンフリクト・マネジメントの重要性
荒磯 恒久 氏 九州大学客員教授、北海道大学創成科学研究機構教授
- 2 九州大学の利益相反マネジメントをどう考えるか
高田 仁 氏 九州大学経済学研究院産業マネジメント部門 助教授
九州大学知的財産本部技術移転部門
- 3 近年の全国的取組み -産学連携コンフリクトのFAQと大学による差異
湯本 長伯 氏 九州大学産学連携センターデザイン総合部門 教授
- 4 デザイン知財活用戦略と学内手続きについて
岸本 泰洋 氏 九州大学知的財産本部デザイン総合部門 副部門長

3) 質疑応答 18:05～18:20

(c) 産学連携センターデザイン総合部門 施設設備利用促進セミナー

■日 時／平成17年7月15日（金） 18:00～21:30

■場 所／産学連携センターデザイン総合部門（3階会議・セミナー室ほか）

■プログラム／

開会・主旨説明 18:00～18:05

司会進行:湯本 長伯 氏 産学連携センターデザイン総合部門教授
大井 尚行 氏 芸術工学研究院環境計画部門助教授

1) 技術説明 18:05～19:05

「虹色レーザーの開発とその応用」
今坂 藤太郎 氏 九州大学工学研究院教授

2) 実演会趣旨説明 19:05～19:20

「創成型科目としてのレーザーディスプレイ制作」
山下 茂樹 氏 九州大学芸術工学研究院教授

3) 実演会 19:20～21:30

学生グループによるレーザー応用作品発表（工学部学生3グループ、21世紀プログラム等学生3グループ）
グループ実演間のセッティングの時間を利用し、パネル展示・意見交換会を行う。

(d) 産学連携センターデザイン総合部門 施設設備利用者セミナー

■日 時／平成17年6月15日（水） 16:30～17:50

■場 所／産学連携センターデザイン総合部門（3階会議・セミナー室ほか）

■プログラム／

1) 挨拶 16:30～16:35

石村 眞一 氏 九州大学芸術工学研究院教授
九州大学産学連携センター副センター長（デザイン総合部門）

2) 概要説明 16:35～17:00

湯本 長伯 氏 九州大学産学連携センターデザイン総合部門教授

3) 館内見学 17:00～17:30

複合環境シミュレーション室ほか

4) デモンストレーション・施設利用方法説明 17:30～17:50

モーションチェア、精神性発汗測定装置等

デモンストレーション（デジタル発汗）協力:アイテック社

(e) ホームページ

KASTECのホームページ上で、KASTECの業務や行事予定、各部門の研究・実務等の詳細情報をご覧いただけます。

KASTECホームページアドレス <http://astec.kyushu-u.ac.jp>

2.4 三部門の協同事業の現状と今後の課題

平成17年度の協同事業活動を概括すると以下の通りです。講演会などの活動として、KASTE Cセミナー10回、施設設備利用促進セミナー2回、産学連携・知的戦略推進セミナー、それぞれについて民間企業などから多数の経営者、研究者、技術者などの参加があり、技術相談や情報交換などが活発に行われました。広報活動としては年報を発行したほか、学協会や産業界への有用な情報源とするためホームページを随時リニューアルしました。

本学では、平成17年度に439件の共同研究が実施されました。下記表は共同研究・受託研究件数の年度別推移ですが、件数が順調に増加していることが分かります。上記の産学官交流活動が起点となり、民間企業等との具体的な共同研究・受託研究につながっていると考えられます。

共同研究・受託研究件数の推移

年 度 (平成)		6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
共同研究件数	九大 芸工大	52 2	57 12	66 18	93 11	92 13	90 16	100 15	128 17	179 27	243	329	439
受託研究件数	九大 芸工大	164 5	144 1	181 3	220 3	247 4	266 4	273 6	197 9	300 8	337	403	445

現在KASTE Cでは、これまで行ってきた産学官交流活動をより効果的に産学の共同研究等に結びつけるため、それらのあり方、実施形態等の検討を進めています。本センターの産学官交流活動に引き続きご支援賜りますようお願いいたします。